KONKOKYO PEACE ACTIVITY CENTER,INC

KPAC Go! Go!

ケーパック　ゴー！ゴー！

特定非営利活動法人
金光教平和活動センター
〒719-0111
岡山県浅口市金光町大谷 338 番地
TEL　0865-42-3434
FAX　0865-42-6034
E-mail Kpacgogo@kpac-jp.com
URL http://www.konkokyo.or.jp/kpac/

KPAC
Vol.25
1.Apr/2022

長引くコロナ禍　続く懸命な支援

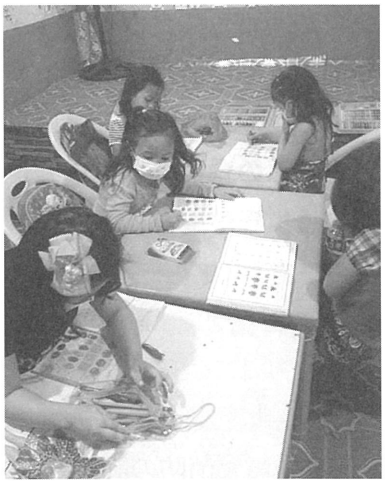
コロナ禍のため、KPAC が支援するフィリピン、タイ、カンボジアにおける各団体の活動も、昨年に引き続き難しい対応が迫られました。フィリピンでは今年２月対面授業が再開、タイでも同２月に再開、カンボジアでは同１月に再開されました。今回は、コロナ禍での各団体の活動を紹介します。

KPAC インフォメーションオフィス（フィリピン）

KPACIO は、すべての園児宅に連絡を取り、コロナ禍により子どもたちが学業を諦めたり、教育を受けられなくなったりした事例がほとんどなかったということを確認しました。

オンライン学習の提供を通じて、保護者とも関ることで、保護者の悩みを聞いて対応したり、反対に保護者のサポートを得て活動したりすることができました。

●感染対策をして授業再開



▲保育の様子

マラボンの保育園では、子どもたちがマスクやフェイスシールドを使うこと、アルコールや石鹸を使って手洗いができることなどを条件に、ソーシャルディスタンスを保ちながら、クラスを再開しました。27 人の子どもたちが参加しています。ナボタスの保育園でも、15 人の子どもたちを対象にクラスを再開しました。

園児の家庭には、衛生キットと米が配布されました。歯ブラシと歯磨き粉、石鹸や消毒用アルコールなどが含まれており、園児の家族はコロナウィルスに対する恐怖から解放される物資を受け取り喜んでいました。

●保護者を対象にした研修

▲保護者対象の研修会の様子

2021 年 7 月から 9 月にかけて開始された保育園の保護者対象の研修には、約 30 人が参加し、3 ～ 6 歳の子どもの家庭学習活動について、他の保護者に指導できるよう訓練しました。参加者には、5 キロの米を含むフードパックが配布されました。ボランティアの保護者は、マラボンとナボタスで 60 人の保護者と 108 人の子供に連絡をとることができました。

SRD コンコウキョウセンター（フィリピン）

●オンラインに加え自宅訪問でも支援

毎週、Zoom を用いた授業が行われ、教室に通えなくとも、リアルタイムでやり取りすることで教室体験を再現でき、生徒の精神的なサポートにもなっています。

授業がない時にも、子どもたちはタブレットを用いて日々学習ゲームをします。必要であれば、メールや電話、テキストメッセージなどを使って教師に質問をすることができます。可能な場合は、教師が自宅訪問して支援することもあります。また、学習以外にも、植物の水やりや床の掃除、おもちゃの片付けなどの活動にも積極的に取り組む生活を送っています。

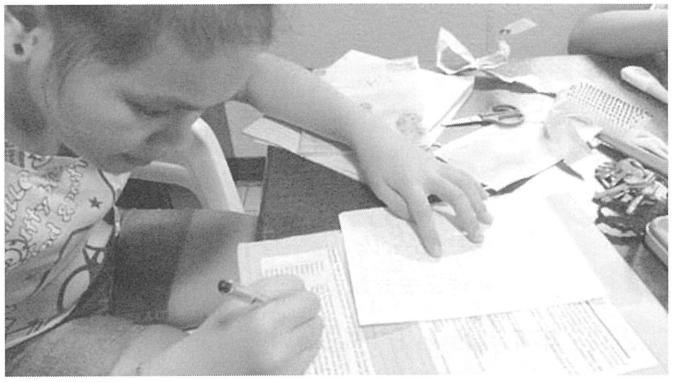
フィリピンの教育省は、感染症の拡大を受け、自己学習モジュールを使用した質の高い遠隔教育を提供することを目標に、基礎教育学習計画を作りましたが、子どもたちの中には、家庭のインターネット環境が脆弱だったり、そもそもインターネットに接続する手段がなかったり、保護者が失業して食料すら十分にない場合もあります。そのような子どもたちがどうやって学習を続けるかという課題に直面しています。支援者の協力により、米などの食材と教材を提供することができました。

▲オンライン授業の様子

カンルンガン・サ・エルマ（フィリピン）

●オンラインで遠隔教育

2021 年 9 月に始まった新年度も、前年度同様、学校の授業は通信教育が続いています。それでも生徒たちは熱心に学業に励んでいました。生徒の学習意欲を保てるよう、オンラインでの自宅学習時にも制服を着用するなど、スタッフは学習の雰囲気を作り出すように努めています。また、ガールズホームの図書室に本棚や机、椅子、学習の参考となる図書が寄付され、子どもたちは新しいことを学ぶことに興奮していました。



▲カンルンガン内での自主学習

●路上生活者への支援

マニラ市内で路上生活をしている家族に、米や缶詰などの食料と生活用品を 300 セット配布しました。また、コロナ禍のため、やり取りは制限しましたが、地域の子どもたちへの食事の提供も継続しました。

▲路上生活者への支援

●地震に備えて

フィリピンで近い将来起こると言われている M 7．2 の地震「ビッグワン」に備えて、消防所員を招き、地震と消防の訓練を実施しました。地震の前、最中、そして後に何をする必要があるか、適切に避難する方法、災害時にどこへ行くべきかを学びました。また、参加者は家での火災を防ぐ方法と消火器を使った初期消火についても学びました。

ドゥアン・プラティープ財団（タイ）

●クロントイ地区でクラスター

財団では緊迫した事態に対応すべく、住居や地域の消毒をしたり、検査体制を整えたりしました。また、自宅隔離された家族に対してお弁当を作って配布したり、バンコク市内で隔離された人たちのために生活必需品袋を５万個配布したりもしました。

６月末から７月にかけて感染者が急増し、どこの病院もベッド数が足りなくなりました。普段から地域の人命救助に当たっている消防隊員や住民委員たちは、財団スタッフとともに、感染した住民を狭い部屋で一緒に暮らす家族から離すことを最優先に行動しました。感染者を抱きかかえて病院へ搬送し、呼吸困難な感染者には酸素ボンベを取り付ける日々が続きました。日夜の活動中、感染者の続出でベッドが空くのを待つ間に命を落とす者が出ることもありました。

このため地域のNGO団体と話し合い、政府に働きかけて、クロントイ地域内に「野戦病院」を設けることになりました。発電所や水道局、複数の病院の協力の下、当財団に運営が任されました。野戦病院内の警備、食事、感染者の治療補助、清掃などに重点を置き、国籍や身分証明書に関係なく感染者を受け入れました。

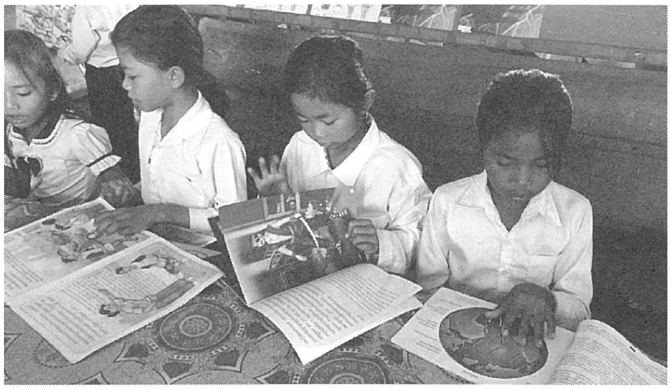
▲地域の子どもたちに昼食を配るプラティープさん

学校は授業再開できずオンライン授業となり、スラム地域では、家にインターネット環境や携帯電話が無いために学習意欲を失くす子どもが増えました。幼稚園児に対しては、毎日ランチを作り、宿題を出し、その配布や回収を保護者の協力のものと行いました。

クメール平和の会 KPO（カンボジア）

●子どもの学習の遅れ懸念

カンボジアでは、2022年１月まで、新型コロナ感染症により全国の学校が閉鎖されていました。その間、オンライン授業が進められましたが、この形態の授業を十分に理解できる能力や環境のない生徒が多く、学習の遅れや、中退者の増加が危惧されています。また、全国学力調査が延期されたことによる教育施策の遅れも懸念されています。



▲絵本を読む子どもたち

●３つのメッセージ

感染症から身を守るため、「マスクの着用」「手洗いの徹底」「ソーシャルディスタンスの確保」を徹底すること、また、「密閉空間に立ち寄らない」「人が集まる場所に行かない」「人に直接触れない」ことを守るよう、生徒たちに呼びかけました。

●コンポンチュナンとプレイベンに支援

KPOは、コンポンチュナン州とプレイベン州にある20の小学校に、マスクと消毒用アルコールを提供しました。また、両州の図書館へ、子供向けの本を提供しました。

世界平和を祈るつどい

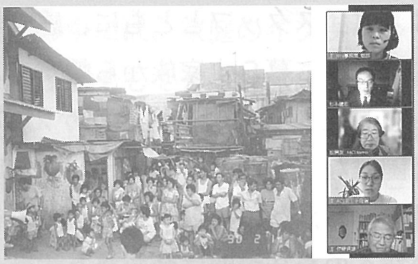
金光教非戦・平和ネットは昨年12月18日、金光教世界平和を祈るつどいを開催しました。前回に引き続き、今回もライブ中継での開催となりました。「真珠湾攻撃８０年・『9，11テロ』２０年　～世界に届けよう　いのちの共感と平和の祈りを～」と題し、サンフランシスコ教会長のジョアン・リーン・トロサ先生と、ワヒアワ教会長の矢野康博先生、横浜西教会の山田信二先生によるスピーチが行われました。

◀ジョアン・リーン・トロサ先生（サンフランシスコ教会長）

▶矢野康博先生（ワヒアワ教会長）

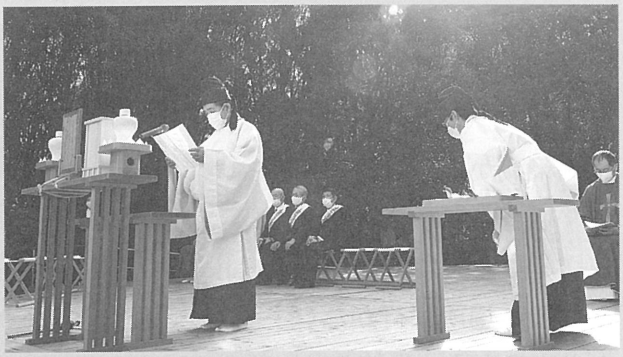
フィリピンに関わるNGOとともに学ぶテーマ学習会

2月1日、日比NGOネットワーク主催の「フィリピンに関わるNGOとともに学ぶテーマ学習会」が、コロナ禍における「子ども」をテーマに、Zoomを用いて開かれ、KPACとミンダナオ子ども図書館の2団体が発表し、杉本専務理事がフィリピンにおけるこれまでの活動と現状を発表し、参加者と意見交換を行いました。



RNN東日本大震災慰霊祭

3月11日、KPACが参加する岡山県の宗教者ら有志による「人道援助宗教NGOネットワーク（RNN）」主催のRNN東日本大震災慰霊祭が、黒住教本部・神道山日拝所（岡山市北区）にて仕えられました。KPACからは、竹部理事長と杉本専務理事が参加し、竹部理事長が東日本大震災やその他の災害の犠牲者の道立てを祈願し、さらに「新型コロナウィルス感染症の速やかな終息をお願い申し上げます。2月25日、ウクライナにロシアが軍事侵攻し、戦争の悲劇が繰り返されています。全世界に憎しみしか生み出さない愚かな攻撃が終結され、平和な暮らしが訪れますように。私どもは世界のさまざまな宗教や人種、文化の違いを乗り越えて、「神と人とあいよかけよで立ち行くあり方を世界に顕現する」との御神願成就のお役に立たせてくださいますようお願い申し上げます。」と祭詞を奏上しました。



金光教平和活動センター　検索

KPACホームページ
http://www.konkokyo.or.jp/kpac/

Facebookページ
www.facebook.com/kpacgogo

✽一食をささげるチャリティー献金へのご協力を✽

金光教平和活動センターが支援する各団体は、コロナ禍の中で緊急的な対応を迫られ、極めて厳しい状況に置かれています。子どもたちの教育の機会が失われることがないよう、いっそうのご協力をお願いいたします。

【郵便振替】　口座記号番号　01280-9-10799　加入者名　特定非営利活動法人　金光教平和活動センター